



しらね



<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shirane>

白根小HP

## 子どもが育つ夏休み

校長 神倉 美智子

水泳指導も始まり、いよいよ夏がやってきました。

間もなく、子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。1学期の復習をして基礎学力の定着を図ることも大切ですが、それ以上に、夏休みでしかできない経験をしてほしいです。

私は3年生の時、夏休みの工作で、刺繍のように模様を編み込んで作るランチバスケット作りにチャレンジしました。最初は楽しくてせっせと編んでいましたが、だんだん一日に進むペースが落ち、やがて遊びのほうに楽しくて放り出してしまいました。そして夏休みが終わるころ、お決まりの「作品が仕上がらない！」パニックになり、叱られながら母に手伝ってもらって、何とか提出したことを覚えています。今でもリアルに覚えているということは、子ども心にも反省したんだと思います。

5年生の時、学校にプールができたので、ろくに泳げないにもかかわらず、夏休みの特別水泳クラブに入りました。指導の先生は厳しく、「1日でもサボったらクビ」と言われました。当時の私は小さくやせっぽちで筋力がなく、ビート板キックをしても、全然前に進みません。後からスタートした友達に途中で抜かれるありさまでした。何とかみんなと同じ練習量をこなすと、終わって着替えているときには疲れて吐き気がしてくるほどでした。それでも一日も休まずに通ったクラブでしたが、区の大会の選手発表では私の名前は呼ばれませんでした。ショックで、初めてプールサイドでタオルにくるまって休む私に、先生が「大丈夫か？」と声をかけてくださいました。

決して速くはないけれど泳げるようになった私は、6年でもまた夏休みの特別水泳クラブに入りました。バタ足は向いていないと感じた先生が、私に平泳ぎを教えてください、そこからは平泳ぎ専門に取り組みました。最後の夏には大会にも出場でき、つらい時もあったけれど、自分で決めたことをやり通し、何より楽に泳げるようになり満足した夏でした。その後進学した中、高、大学ともプールはなかったので、私の水泳学習はそこで終わりました。

中学2年の夏休みには、母から、8月中の毎日、家族の夕飯作りをしないかと提案されました。予算として数万円を預かり、そのお金でやりくりするのです。余ったら自分のお小遣いにしていいとの話に、私はすぐに飛びつき、毎日の夕飯作りが始まりました。最初のうちはあちこちの店を回っては特売品を見つけ、それでメニューを考えて家族5人の夕飯を作りました。

しかし、スポーツ以外では根気が続かないという、本来の私の性格が出て、だんだんと買い物も身近なところで済ませ、メニューも偏ってきます。しまいには出来合いの総菜を買って済ませることも多くなりました。中学生の姉の作る質素な夕飯に、妹や弟は不満もあったと思いますが、母の指導があったのか、文句を言われた記憶はありません。結局最後は預かったお金では足りなくなり、母から追加をもらう羽目になりましたが、何とか1か月のミッションはやり遂げ、良い経験となりました。こういったことは夏休みだからこそできる経験です。失敗してもそれは必ずどこかで生きてくるものではないでしょうか。

ちなみに、私は大学が教育学部だったので、プールはなくても水泳の授業はありました。それは海での水泳合宿で、最終日に男子は6キロ、女子は4キロの遠泳がありました。それを乗り越え、教員免許をとれたのは小学校時代の夏休みの経験のおかげです。

### ◆ 7月の目標 ◆

【生活】

身の回りの

整理整頓をしよう

【保健】

夏を健康に過ごそう

【給食】

清潔に心がけて

食事をしよう

## たくさんのご参観、ありがとうございました

15日(土)に土曜授業参観を行いました。子どもたちもいつも以上に頑張ってお勉強に臨んでいました。雨の中、たくさんの方に参観していただき、ありがとうございました。7月は個人面談があります。夏休みに向けて、1学期の学習や生活の様子をお話できればと思います。よろしくお願致します。





# 学習のあしあと



## 5組

### 5組給食が始まりました

6月から毎週月曜日と金曜日に5組給食が始まりました。1年生から6年生までが二つの教室に分かれて給食を食べています。3年生以上が給食当番になり配膳をしています。とても張り切って当番活動をしています。とても頼もしく頼りになる姿です。異学年で交流することでそれぞれに刺激があるよい時間です。



## 1年生

### はじめてのプール！

先日、1年生は小学校生活初めての水泳学習を行いました。冷たいシャワーを浴びたり、大きな25mプールに入ったりと初めての体験が多かったと思いますが、みんな頑張ってお勉強に取り組んでいました。水の中ではみんなとても楽しそうな様子でした。水泳は、得意な子もいれば不安を感じる子もいるかと思いますが、みんなが楽しめる活動を目指していきたいと考えています。



## 2年生

### ヤゴをそだてています

6月5日、プールの水を抜き、ヤゴを捕りました。初めはプールサイドに網であげてもらった枯葉の中から恐る恐るヤゴを探していた子どもたちですが、だんだんと慣れてきて、途中からは自分からプールの中に入って、夢中になってヤゴを探していました。一人一匹ずつ飼育できるほど捕れました。早速育て方を調べて、毎日餌をあげたり、水を替えたりしています。たくさんのヤゴがトンボになるといいです。



## 3年生

### 書写の学習がはじまりました！

初めての書写の学習が始まりました。子どもたちは、慣れない習字セットの扱いに悪戦苦闘しておりますが、習字独特の書き心地を楽しんでいる様子です。たて線、よこ線の練習から始まり、それらを組み合わせた「土」「日」の漢字を清書しました。また、細筆を使って名前を書くことに苦戦しています。三年を3年と数字で書いてしまったり、名前が入りきらなかったりと、何度も何度も失敗しながら子どもたちは上達していています。





## 4年生

### 交通安全教室を行いました！

25日、校庭で交通安全教室を行いました。

警察の方に、自転車の正しい乗り方を教えてもらい、実際に自分たちでも体験しました。体験する中で、「あんまり意識してなかった」という声も上がりました。

また、自動車から死角になる場所や、カーブで巻き込み事故が起こりやすいことも教えてもらいました。

教えてもらったことを意識して、安全に過ごしてほしいと思います。



## 5年生

### 子浦宿泊体験に向けて！

7月16日～18日に子浦宿泊体験学習に参加します。初めての2泊3日の宿泊体験に向けて、活動がスタートしました。運営、食事・部屋、バスレク、学年レク、キャンプファイヤー、海の活動の6つの実行委員会を作り、どの子どもこの中の1つに所属しています。最高の思い出を作れるように責任や想いをもち、準備を進めています。



## 6年生

### 未来がよいくあるために

未来の社会がどうなってほしいか、今の自分や身の回りのことなどに目を向けて、意見文としてまとめました。校内でスピーチコンテストを行い、自分の考えを伝え合いました。みんなそれぞれ自分でテーマを選び、根拠になりそうな情報を調べ、自分なりの意見をまとめることができました。最も説得力があり、分かりやすくスピーチできた児童は「旭区よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」に参加します。白根小学校代表として、頑張してほしいと思います。



### 児童支援専任より

「児童支援専任」という教諭が各学校に一人ずついることをご存知の方は、数年前に比べて少しずつ増えてきているでしょうか。私が児童支援専任になった4年前は、まだまだ知っている人の少ない役職でした。今は、少しずつですがその認知度も上がってきているように思います。「児童支援専任教諭制度」は、子ども一人一人が安心して自分らしく学校生活を送ることができるよう平成22年からスタートし、平成26年度で市内全校に配置されました。児童支援専任教諭は学級担任をもたず、いじめなどの人間関係上のトラブルや不登校、特別支援的な配慮など、様々な困り感のある子どもや保護者と向き合い、解決や改善の方法を探っています。中には、学校だけでは難しい問題もあり、そのような時には学校カウンセラーや外部の相談機関などの窓口にもなっています。

1学期も、様々な困り感を抱えた子どもやその保護者の方と関わってきました。その中で日々感じていることは、保護者の方のご協力の大切さです。特に放課後や休日は、学校の指導や支援が行き届きにくい時間です。誰よりも多くの時間をその子と過ごしているであろう保護者の方とご協力しながら、これからも一人でも多くの子が笑顔で学校に通えるようにしていきたいと思います。保護者の皆様には、引き続きご支援・ご協力よろしくお願ひいたします。

(児童支援専任 佐藤 妙恵)